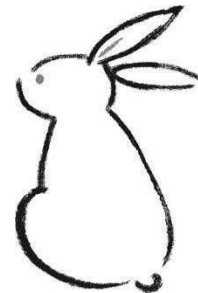




Shiro-usagi

白兎・素兎



平川塾HP



アメブロ



書籍

文責：平川 達三

桜



このNo.13は「編集後記」なしの5枚綴りです。

平安朝の頃、花見は貴族のたしなみと社交の場であって、庶民にはその概念すらなく、しかも「花」は桜ではなくて梅だったそうです。

梅は中国から伝来し、桜よりも上品な香りが高く見栄えもしたので、当時の貴族に好まれて、それはそのまま貴族のステータスになりました。

なので、現在のように梅や桜が群生している場所にわざわざ出かけるのではなく、それぞれの邸宅に梅が植えられ、花を咲かせる頃になると招き招かれして、和歌を詠んだり四方山話をしたりして「話の花」も咲かせたそう。

これが平安末期になると梅から桜へと趣向がうつり、庶民にも今のような飲みや歌えの享楽としての花見を広めた

り、本来の参詣の姿が戻ってきたようでほっとしています。

あるいは、花見の場所を取り合う熾烈なシーンもすっかり鳴りを潜め、どこかの会社員さんたちが20人ほど桜の木の下に集まって楽しんでいますが、ちょっとお酒が入った程度の談笑ですし、あるいは親子連れがシートを広げてはいるけれど、お弁当を食べているとか、スマホを手にして満開のサクラの木を背景に写真を撮っている人や、中には本格的な一眼レフカメラを手に撮影に余念のない人など、微笑ましい光景がたくさん見られるようになりました。

それではワタシもと、いざ写真を撮ろうとすると、どうしても見ず知らずの人がファインダーに入ってしまうもので、そういうこともあって、桜を撮るときは花びらのアップ写真に限定、なんてことになってしまいます。

が、一箇所だけ、ワタシのお気に入りの場所があるのです。夜が最高です。独り夜桜見物が出来ます。

多米社です。拝殿があるわけでもなくて、サイズの大きい墓石が鳥居の奥に佇んでいるような見た目なのですが、実はもともとここに神須牟地神社があ

り、豊臣秀吉さんなんやそうです。

まずは「お手本」として秀吉さんが宴会を開き、庶民に見せては酒や食べ物を振る舞ったので、

「太閤さんがやってはるんやったら、ワシらもやるか。」

となったそう。

そういえば、織田信長さんですが、強烈なリーダーシップで当時の日本の国を率いた反面、とにかく冷酷非情で怖い人というイメージがありますが、安土桃山城が完成した折には、城下の人々に見せて自慢したあとで見物料としてお金をちゃっかり取ったとか、花見なども庶民の前で開き、彼らを招き入れ、飲みや歌えや踊れやの大騒ぎを

りました。この神社は今では西長居公園の筋向かいにあります（塾舎から最も近い神社です）が、秀吉さんが何かの理由で現在の場所に移築させた姿が今に至っています。当時の神須牟地神社の境内に摂社としてあったのが多米社で、移築する際に周囲の農民からの強い要望で多米社だけが今の場所に残されたと言われています。



多米社

業務を終えて帰宅する途中は勿論、年末年始であろうと、必ずお詣りするがこの多米社です。

多米社と神須牟地神社の由緒を知ったのは、ここにお詣りを始めて1年ほどしたときでしたから、由緒とは無関係

し、汗をかいた人々の額を自ら拭ってやったというエピソードがあったりします。



当時の宣教師が描いたとされる信長像。日本の教科書に掲載されている、いわゆる似せ絵とは印象が随分と違いますね。

最近はとんと行かなくなりましたが、大阪城のお膝元である大川端の桜並木は見事なもので、大阪帝国ホテルの1階にある喫茶コーナーからの眺めが良し、更に最上階のレストランからの眺めは、まさに雲霞のごとです。

に、ある日突然お詣りをしたくなって鳥居の中に足を運んだのがご縁です。

こういう風に突然行きたくなってご縁が結ばれるときは、その神様に呼ばれたからだという種の話は、スピリチュアル系のサイトを見ていると方々に目にとまりますが、ホンマのところどうなのかしら。だって、「神様に呼ばれた」だなんて「言ったモン勝ち」に近い世界ですからね。まさか神の啓示を夢の中で受けたといわれているムハンマド（マホメット）やあるまいしで。

ここにお詣りするのには早くて午後7時ごろで、大抵の場合は午後11時を過ぎた頃です。ときには「日付変更線」を越えて午前1時頃になることもあり、1回だけですが、賽銭泥棒に間違われたのか、巡回中の巡査さんに声を掛けられ、それとなく「プチ職質」を受けるといふアクシデントに見舞われたことがありますけれど、まあそれはご愛敬。

それにしても、この桜のもとにたたくと、鳥居のすぐ外にいる自分を取り巻く空気よりも、微かなれど確実に存在感のあるやや冷たい気の流れが鳥居の内側から現れて、自分をそっと包んでくれるのが分かります。

1年前の2月にクルマに撥ねられてこ

その他に、大阪では造幣局の桜が有名です。但し、造幣局の場合は「通り抜け」のみです。

近隣の公園の場合は3月上旬になると陽光の下でもまだ肌寒いけれど、カワヅサクラ（河津桜）が咲き始めます。そして、それが葉桜になる頃にジュウガツザクラ（十月桜：その名の通り、10月になるともう1回花を咲かせます）が咲き、3月下旬か4月初旬にははいよいよソメイヨシノ（染井吉野）とサトザクラ（里桜）の出番となり、長居公園では約1か月間、様々な桜を愛でることが出来ます。

いわゆる「コロナ禍」以降、花見だけでなく、神社さんの初詣なども随分と様変わりしたようですね。

例えば、住吉大社（すみよっさん）の境内です。初詣にかこつけて立ち並んでいた露店を全廃したのです。おかげで年末年始も祭りも知的で理性的にな

の世を去った、焦げ茶色の大きな猫ちゃん、縄張りのひとつだったのもこの場所なのですが、まだ佇んでいるような気がします。もしかしら、神様からこの桜を護るようにと仰せつがっているのかも？

鳥居から伸びる短い参道奥に石塔（一見すると大型の墓石）がありますが、その根本のところどころでちょこなんと座っているような気がしないでもない…。

そういう自分の記憶と、やや冷ややかに澄みきった気の流れに包まれながらしっとりとした気持ちになれる場所。こういう場所にたたくと、おのずと第六感めいたもののアンテナが鋭くなるのか、想像力もたくましくなります。

今年の「独り花見」は雨になりました。夕方から本降りとなったので、桜が散ってはいないかと気もそぞろになっておりましたが、杞憂に終わりました。

とはいっても、たくさんの花びらが生け垣と参道に落ちております。今し方までの雨も止み、適度に濡れた参道の光景はいと美し。雨に潤いたる花のいとをかし。

きれいだな…。

雨の日もなかなか乙なものだね。



「桜は三度咲く」

桜は木で咲く。次に桜は空中で咲く。最後に桜は地面で咲く。

こんなにも暖かくて穏やかな日なのに、どうして桜の花は忙しなくどんどん散っていくのだろうか。もう少しゆったりと散ってあげばいいのに。

そうそう。最後にこれを言わなきゃいけない。

今年も咲かせてくれて、どうもありがとう。



紀友則 紀貫之の従兄弟にあたる。



昨夜は風がなかったのと、花びらが風の中を舞うのは来週の半ば辺りかという感じの状態なので、花びらの円舞はファインダーに収められませんでした。生け垣の花びらにフォーカス。

日本人だからとか日本人のDNAとか、そういうのではなくて、梅や桜には国や人種を問わずに惹きつける不思議な魅力があるのは確かなようです。

その魅力を存分に語るエッセイがあります。それも毎年この桜の季節に思い出さずにはられないのが、青木玉さんの「花を追う」という作品です。

大島桜を主軸に作者の想いが静かに語られます。

皆さんがよくご存じのソメイヨシノやカワヅサクラ、それにサトザクラは大島桜から生まれるのです。ところが、華やかな姿で見る人を喜ばすソメイヨシノやカワヅサクラ、見事な八重を咲かせるサトザクラに対して、大島桜はそれらの桜を育てるときに土台の木として接ぎ木され、それらがある程度育つと大島桜から切り離されて、植木職人の手から売りに出されるのです。それで、肝心の大島桜はどうなっているのかというと、

「大島桜？ ああ、知ってるけど見か

けないね。ソメイヨシノやカワヅサクラほど見栄えがしないから、売れないんだよね。一度だけ大島桜が咲いているのをみたことあるけど、いつだったかな〜…。」

筆者の青木玉さんいわく、子育て上手で器量よしなのに、大人しすぎるその存在ゆえに、誰にも気に留めてもらえない。ソメイヨシノやカワヅサクラは土の外に出てその華やかな身なりをたくさんの人に見てもらえて喜ばれるのに、その元としてなくてはならない大島桜は、人の都合で好き勝手にされて土の中から外に出られないなんて、これではあまりにも不憫ではないか…。

そこで、大島桜が誰に遠慮をすることなくもっと堂々と咲いている場所がないのかというのを知人に尋ねて回ったところ、大島に行くといよということ聞きつけて、すぐさま大島へ飛行機で行き、そこで筆者が見た姿はこのようだったそうです。

ソメイヨシノやカワヅサクラに何の見劣りがあるろうか。確かに花の色はもてはやされる桜よりもやや薄い感じがするけれど、それらの桜たちを分け隔てなく育て自らも逞しく謳歌しているこの姿は、良妻賢母でありながら誰にも気づかれない存在ではなくて、ここで

「算数の基礎体力」効果が思わぬ所に… 算数と数学、そもそも何が違うの？

塾舎での指導について、ワタシにとっては理系関係の指導の主軸はどうしても中学生になってしまいます。

小学生さんに時々尋ねられることがあります。

「先生、算数と数学って何がどう違うのん？」

それこそ「中学生になったら分かる」という、いわゆる「お茶濁し」もできるのですけれど、これって、「大人になったら分かる」というのと同じですね。これではジュークチョーとしても芸がないわけです。

とはいうものの、生徒さんが塾舎から引けてひとりになったときに改めて考えてみるのですが、生徒さんに端的な答となるものは、未だに見つけられていません。答えに窮する（きゅう）という意味では「どうして空は青いの？」と似ていると言えは似ております。

もっとも「空が青い理由」については、

太陽光線が大気中に入る際に、太陽が高いところに位置する昼間では、高高度の領域に太陽光線が入射し、光のスペクトルの中の青い部分が大気分子に当たって反射するからで、夕暮れ時は太陽の位置が低くなることで光の入射角が低くなるため、赤の部分が空気分子に反射するからだという説明が可能です。

算数と数学の違いもここまで明確なら良いのですが、指導の最中に両者の違いを実感するシーンにはたくさん出くわすものの、それぞれが一瞬でしかなくて、その都度書き留めないと覚えきれないほどで、かといってその都度書き留めていたら、書く方に気が行ってしまって指導が中断されてしまうというように、結構厄介だったりします。

代表的なことを言えば、計算自体は算数の方がずっと複雑であること。

数学では文字式を使うことが多くて、特に分数式を見ている限りでは算数よりもはるかに難しく感じますが、分数

は逞しい母親として堂々と生きています。

筆者の「かわいそうな大島桜」という印象は自分の中の妄想に過ぎなくて、実際は堂々たる存在だったことに深く感動したというエピソードが、淡々とはあるけれどじっくりと語られていて、読む人の心に深く残る作品として存在しています。

こんな風に想いを巡らし脳裏の世界を広げるためには、やはり独り花見がいい。

百人一首の名作に、このようなものがありましたね。

花見にと 群れつつ人の 来るのみぞ
あたら桜の とがにはありける
〈紀友則〉

独りで静かに過ごしたいと思っているのに、美しい桜の花を見るために大勢の人がやってきて騒々しい。これは美しく花を咲かせる桜の罪だなあ。

久方の 光のどけき 春の日に
しづ心なく 花の散るらむ
〈紀友則〉

の基本的なことを小学生の間にガッチリと習得していれば、数字自体の計算となると、「5a-3a」みたいな感じで、「5-3」というヒトケタの計算になってしまいます。

これに対して算数の計算だと、

$$1298 \times 345$$

というようになり、いざ筆算をすると、これが思っている以上に頭脳に負担をかけるものです。

たかが小学生の算数、されど小学生の算数で、中学入試の算数ともなれば独特のものがああり、通常の小学生が見たこともないような高度で複雑な内容になったりします。

中には、

「これ、完全に中3の概念とちゃうのん？」

と、つつこみたくなるものが、算数の顔をしてしれっと存在します。

最も単純な例を挙げますと、

「□×□=16になります。この□に当てはまる数を答えましょう。」

□が2つあるから「 $16 \div 2 = 8$ 」、ではないですよ。

□+□=16であれば「 $16 \div 2 = 8$ 」で正解ですが、「□×□」だったら、わり算でもないしで…。

もうお気づきかと思われませんが、これは中学3年生で学ぶ平方根のごくごく基本的な概念です。

これを「 $X \times X = 16$ 」で出題すると算数の領域ではないのでアウト。ならば、「□×□=16」を出してみたら、これなら算数の領域だからセーフという妙なことになるのです。

もっとも、小学生の領域では負の数の概念は学ばないので答は「4」で正解ですが、中学3年生が答えるとなると、「 $4 \cdot -4 (\pm 4)$ 」と答えなくてはいけない、なんてことを省いても、こんな感じでしたら出すことは可能です(これは灘中学入試問題の常套手段です)。

あるいは、文章題で分かりやすい例を挙げますと、「つるかめざん」というものがあります。

「ツルとカメがいます。頭の数をあわせるのではないかと考えています。

算数は数の妙を感覚的にとらえる学問で、数学は数の妙を論理分析して得た結果をシステム化させて解決する学問である。

ところで、先月号で公開した「算数の基礎体力」ですが、これを春休みに実施していた(現在も継続中)生徒さんに、思わぬ所で効果が始まっています。もちろん無意識下での変化がそうさせているのだろうと思われるので、本人は気づいていないようです。

それは、字が丁寧になったこと。読解問題中の記述問題への答え方も丁寧になったこと。

算数の計算をしていたのに、国語読解とは「此は如何に?」なのですが、あながち無関係とは言えないものがあるように思われます。

前述のように、算数の概念って数の妙を何でもござれで、それこそ手品のよう解いていくし、計算ひとつをとっても、数字自体の計算でいえば、数学よりもはるかに集中力が要ります。生徒さんにさせる以上はワタシ自身も解きます。その際、頭脳の使い方を自身

せると全部で14。足の数の合計は44本です。ツルは何羽で、カメは何頭でしょうか。」

数学の視点から言えば、めちゃくちゃなことをしているのです。

発明王として誰もが知っているエジソンに、このようなエピソードがあります。彼が6歳のとき、学校の算数の授業時間に、

「こちらの牧場に牛さんが5頭います。向こうの牧場に馬さんが5頭います。合わせて何頭になりますか。」

という先生からの質問に、

他の生徒さんは「10頭で〜す」と元気よく答えたのに対して、エジソン少年は分からないと突っぱねました。そんな彼に対して先生は、こんな簡単な計算もできない子というふうに理解したのですが、エジソンの言い分はこうでした。

「牛と馬は全然違う生き物なのに、どうして合わせて数えられるのか分からない。全然違う生き物を合わせて数えられる理由とその方法を知りたい。」

実は、これが数学の概念なのです。

で検証しながら進めているのですが、数学の複雑な文章問題を解いているときは異なった頭脳の疲れ方をすると、同じような計算を連続すると、いつの間にかどこかで集中力が途切れるのでしょね、いざ答え合わせをしてみると、ビックリするような所で間違えていることに気づかされます。

それでなくても計算ミスをよくするので、生徒さんからの指摘も絶えないのですが、数学とは異質の難しさが算数にあることを強く感じます。

極端な言い方をすれば、算数の計算問題を連続で解いているときよりも数学の問題を解いているときの方が、精神的には楽です。算数の計算問題の連続は本当に根気が要ります。それこそ修行僧ではありませんが、日々精進の心境になることも少なくありません。

それに比べれば、数字を丁寧書くとか字を丁寧に書くななんてことは、ずっと楽に感じるのかもしれませんが、もちろん生徒さんはそんなことを意識していないのですが。

それと、時期的に学年も上がりクラス替えと担任の先生が替わるという環境

牛を「X」馬を「y」と置き換えます。「 $X + y$ 」は中学生の文字式を習った時点で、このままでは何の計算もできないことを知ります。

エジソン少年の両親は農場を営んでいたため、彼もまた生まれたときから牛や馬と接して育ったのです。ですから、牛と馬は全く異なった個体だということ肌身で知っていたからこそ、このような反論ができたのだということも考えられますが、農場や牧場が広がる地域ですから、農家や酪農家の子どもたちは他にもたくさんいたはずでしょう。でもその子たちからの反論はなく、エジソン少年だけが反論したのです。

話をツルとカメに戻しますね。

ツルとカメも全く違う個体ですから、本来なら合わせて数えるなんてことは、もうとんでもないことなのです。でも、算数ってそんな「^{モーメント}無問題」。ツルとカメなんていうのは単なる例示に過ぎなくて、「数合わせをすりゃいいじゃん」という、数学からすれば斜め上を行く理屈なのです。

その算数の理屈で解くと、こうなります。

的な変化とか、それにとまなう心機一転の気分とか、そいうったことから影響は受けているでしょう。

それを含めて考えてみても、「算数の基礎体力」という、小学1年生から5年生までの掘削式総復習の実施はタイミング的にも良かったですし、国語読解中の記述問題にまで影響を及ぼし始めたことを考えると、潜在的な部分の変化の大切さを、改めて感じさせられます。



春休みを終えて初登校する度にドキドキしたのは何年前のことやら。ジュークチョーにとってはもはや遠い遠い記憶なのです。

「14の頭が全部カメだとすると、足は4本ずつだから、 $4 \times 14 = 56$ にならないといけないけれど、実際の足の数は44だから、 $56 - 44 = 12$ の差になる。この差はどこから来たのかというと、2本足のツル1羽と4本足のカメ1頭につき2本の足の差になるから $12 \div 2 = 6$ となり、ツルは6羽いて、 $14 - 6 = 8$ でカメは8頭いる。」

カメを元にしてツルを出すという、数学からすれば暴挙のような方法が算数では通用するのです。

では、これを数学で解くとどうなるのでしょうか。

「ツルがX羽、カメがy羽いるとする。すると、 $X + y = 14$ が成り立つ。次に足について考えると、 $2X + 4y = 44$ となる。この連立方程式を解く。」

あるいは、「ツルがX羽いるとすると、カメは $(14 - X)$ 頭いるから、足の数に着目すると、 $2X + 4(14 - X) = 44$ となり、これを解けば良い」

こちらは中学1年生の方程式での考え方ですね。

この結果を踏まえて、こんなことが言

グッジョブアイテム

「こんなん、反則とちゃいますのん?」と言いたくなるほどの便利さ。

ワタシの拙ブログのフォロワーさんが以前にアップなさっていたのを拝読し、その存在を知りました。

iPhoneやAndroidスマホ専用のCDレコーダーです。ちなみに、一般的に「スマホ」と言っていますが、「スマホ」はAndroid形式の携帯電話のことで、iPhoneはあくまでも「iPhone」なのだそう。そういう理由で、ちょっとお読みづらいかもかもしれませんが、区別をして書いていきます。

ワタシ、外出するときは、大抵は小型プレーヤーとBluetoothイヤホンを持ち歩いています。

収録数の多さだけが取り柄。ただいま6,500曲。もちろん、収録数は絶賛増殖中です。

いつも持ち歩いている^{フィーオ}Fiio君(中華ブランド)はAndroidです。

128GBのmicroSDカード対応で、フォル

ダ分けしてPC専用の外付けHDDに保管している、いわゆるバックアップ音源からmicroSDカードに引っ張り出せばこと足るので、とても使い勝手が良いのです。

Beethoven No.2 Piano Concerto	Bach シンフォニア
Beethoven No.2 Piano Concerto mp3	Beethoven Opus 80
Adams Hen, Best & Live Disc 1	Beethoven String Quartets 1
Adams The Journey, The Best of Adams	Beethoven String Quartets 2
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven String Quartets 3
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven String Quartets 4
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven String Quartets 5
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven String Quartets 6
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven String Quartets 7
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven String Quartets 8
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven String Quartets 9
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Wilhelm Backhaus 1
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Wilhelm Backhaus 2
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Wilhelm Backhaus 3
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 1
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 2
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 3
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 4
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 5
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 6
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 7
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 8
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 9
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 10
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 11
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 12
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 13
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 14
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 15
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 16
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 17
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 18
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 19
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 20
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 21
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 22
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 23
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 24
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 25
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 26
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 27
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 28
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 29
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 30
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 31
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 32
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 33
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 34
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 35
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 36
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 37
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 38
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 39
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 40
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 41
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 42
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 43
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 44
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 45
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 46
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 47
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 48
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 49
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 50
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 51
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 52
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 53
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 54
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 55
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 56
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 57
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 58
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 59
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 60
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 61
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 62
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 63
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 64
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 65
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 66
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 67
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 68
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 69
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 70
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 71
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 72
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 73
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 74
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 75
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 76
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 77
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 78
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 79
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 80
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 81
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 82
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 83
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 84
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 85
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 86
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 87
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 88
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 89
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 90
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 91
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 92
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 93
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 94
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 95
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 96
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 97
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 98
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 99
Adams (L. Carter Hand Origin mp3)	Beethoven Piano Concertos Zdeněk Fibich 100

microSDカードの「中味」はこんな感じです。何でもかんでも取り込んでくれるのをイイことに気がついたら6,500曲になっていました。それで、これだけの曲を毎回聴くのかと言われると、そんなことはないのですが、どの曲もどのフォルダにあるのかをたどることは可能です。

それに加えてmp3音源だけでなく、mp4a音源やWAVE音源でも、何でもござれで対応し、再生してくれます。

これに対してiPhoneは気難しいというのか、使い勝手がよろしくない。

CDからの録音（同期）はいちいちCD音源をPCから取り込み、iTunesを介さないといけないし、やっとのことで同期させることができて、1枚のCDなのに、冒頭の1曲だけを「不明」というワケの分からないフォルダを作っ

て飛ばすので、不愉快きわまりないのです。だって、例えば、4楽章でひとつの作品になっている、チャイコフスキー交響曲の第1楽章だけを「不明」フォルダに飛ばされたら、続きの第2楽章から第4楽章までをすんなりと連続再生できないからです。書籍で喩えるなら、ひとつの小説の第一章だけを誰かの身勝手な都合で別冊にされているようなものです。

それと、iPhoneでは第2世代以上のコピー音源は、フォルダの認識はしても録音（同期）しないようです。やっからさで同期させることができてヤレヤレと思って再生アプリを立ち上げててもぬけの殻なのです。

これは著作権の保護のためなので、納得できます。

曲数が6,500曲ともなれば、CD音源からPCに取り込んだファイルなのか、バックアップコピーのファイルから引っ張り出して、いわゆるバックアップのバックアップをした音源ファイルなのか（これが2世代コピー）、果ては3回目のバックアップをした音源ファイルなのか（こうなるとコピー3世代目）分からないものもあります。

iPhoneはこういう所がとてもシビア

Bluetoothは便利だけれど、よく途切れますしね。CDからの取り込み中にこんなことが起これば、iPhoneもこのCDレコーダーも、即座ぶち切れたワタシに破壊される運命をたどるシーンが何度も脳裏をかすめたので、Bluetoothタイプは却下。

で、先日届いたのがこのケーブルタイプです。

- ① 専用アプリをダウンロード。
- ② 写真のようにつながります（右端の欄にある写真）。
- ③ 専用アプリを立ち上げて、数あるボタンの中から「CD」というアイコンをタップ。



ナンと、PCもiTunesも介さずに、しかも1枚のCD音源を断りもなくバラバラに入れることもなく、CDレコーダーから直接、iPhoneやAndroidスマホに取り込こんでくれる働き者です。

価格帯は8,000円くらいから13,000円くらいです。ケーブルで取り込むタイプとBluetoothで取り込むタイプとあって、価格が異なるのは、この機能の違いの反映です。

とはいうものの、こういうデジタル機器に対してはなかなか信頼しないところのあるワタシなので、3か月くらい購入するのをためらっていました。

です。で、1枚のCD音源を1曲目だけ「不明」フォルダにとばすお節介に対する修正をPCのiTunesで出来ると知ったのはつい最近のことなのですが、これがまた面倒くさい。

文句の言いついでに、iPhoneで再生した音楽をヘッドフォンとかイヤフォンで聴いているときに、電話がかかってきたりLINEに着信があったりすると、いわゆるそれらの着信音が予告なく楔として容赦なく耳に打ち込んできます（LINEは着信音を鳴らせないように設定出来ますが、電話の着信音を無音設定すると音楽も聴くことが出来なくなります）。

もしかしたら電話も設定出来るのかも知れませんが、操作自体が面倒くさいので、する気にもなれません。ユニクロのアプリをダウンロードすると何割引きかになるという店員さんの勧めもあり、店頭で操作しようとしたのですが、住所氏名年齢にパスワード設定にと、とにかくめんどくさい。多分、ワタシの身体からどす黒いオーラが出ていたのでしょうか、店員さんがいつの間にか遠ざかってはりました。

さて、音楽をヘッドフォンなどで聴くのは、休日の移動中の列車内というの

- ④ 自動的にCDのデータをiPhoneやAndroidスマホのWiFi機能を介して検索し、画面に反映させます。
- ⑤ 取り込みたい曲を選択し（全部取り込みたいときはノーチェック）、あとは「開始」アイコンをタップするだけ。
- ⑥ 取り込み終了後は自動的にCDが排出されます。

1枚のCDの取り込み時間は4～6分くらいです。

難を言えば、iPhoneやAndroidスマホの電源をかなり食うことです。

例えば、残量65%のときに、10枚くらいのCDから音源を取り込んだときは、終わった時点で残量が30%になっていました（いきなりCD10枚分を取り込もうとする方が無茶振りなんですけれどね。そんな親の敵みたくに使用なくても…）。

電源供給をするにも、その「口」を取り込み用のケーブルにふさがれているので、電源を確保しながらであれば、Bluetoothタイプの方が良いかも知れません。

CDデータをWiFiで取り込むのと音源

が大抵のパターンなのです。気持ちよくと落ち着かせたいときでもあるので、こんなときに着信音が、音楽と同じ音量で飛び込んできた瞬間に、不快感は頂点に達します。

無料YouTubeで動画を見ているときに視聴者に一切お構いなしでお見舞いしてくれるCMと同じくらい。ムカッときます（YouTubeはプレミアムにしていますが）。

こういう諸々の理由で、大量の音楽ファイルを持ち歩くために、わざわざ256GBスペックのiPhone11に乗り換えてやったのに、音楽ファイルに関してはワタシにとっては役立たずと同じです。

ということで、この半年はiPhone11に音楽ファイルは1曲も入れないで歩いていました。

ところが、救世主が現れました。

ワタシの拙ブログのフォロワーさんのおひとりが、あるモノを記事にアップされていたのです。

それが、これです。まさにグッジョブなアイテムです。

を急速に取り込むのことで、バッテリーへの負担となれば確かに重くなるのは、なんぼデジタルに疎くて、扱いもひどいワタシでも分かるつもりです。



CDから取り込み中。

このアプリで取り込んだ音源は同じアプリのなかで再生可能です。例えば、iPhone専用の音楽再生アプリでは再生できませんし、このアプリからiPhone専用の音楽アプリへのファイルの転送もできません（それこそ、著作権の遵守です）。

このCDレコーダーと専用アプリですが、まだそんなに使っていないけれど、iPhoneで取り込んだ音楽ファイルでコピーCDができるみたいです。

詳しいことは「知らんけど」の状態ですが、汎用性がありそうです。

それにしても、便利グッズが次から次へと現れる時代になりましたね。

陽光に誘われて

大阪のこの地も随分と温かくなりました。

ついこの2週間ほどでまで石油ファンヒーターのお世話になっていたなんて遠い過去のように感じます。

カワツサクラの木のもとでハーネスをつけられた豚さんを目撃してから、早2週間（3月31日現在）。

昨日は春季講習2周目のスタート日だったのですが、午前11時前に塾舎を開けたものの、体調を崩した生徒さんの欠席の連絡が重なり、まさに「開店休業状態」になり、10分後にはあえなく塾舎を閉めました。

最近はこの形で突然休みの日を天からいただくことが間々ありまして、最近ではスーパー銭湯に行ってもどっと疲れのばかりということもありで、温泉に出発しているだけでは芸も無し。

ということで、年末のドタバタ参りの非礼がずっと引っかかっていた観心寺にお参りに赴きました。

昨日のお昼頃なんて、さすがに日陰の

ところでは肌寒さと涼しさの微妙な境目を感じさせられましたが、日なたを歩いていると半袖でも良いくらいです。

実は、ウォーキングをまだ再開できずにいます（4月7日に再開）。

春季講習中はお昼休みがあるとはいえ、時間を気にしながらというのも楽しみなさそうですから、春季講習が終わった翌日くらいからウォーキングを再開する予定にしました（予定は未定？）

そこで準備も兼ねて、帰宅後、半袖のポロシャツに着替え、夕暮れ時に備えて羽織るための薄いジャケットをカバンに入れ、颯爽とお出掛けです。

J R阪和線の長居駅から天王寺に出て、対岸の近鉄南大阪線に乗り換えます。

近鉄南大阪線の始発駅である大阪阿部野橋で準急に乗り、そのまま終点の河内長野駅まで。下車後は南海バスで観心寺まで。駅から15分もあれば着くことができます。

バスを降りてすぐさますることは、対岸の河内長野方面の停留所で河内長野

くに正成さんの首級を取めた首塚をつくらせました。

この観心寺の境内の首塚の周囲には、後醍醐天皇に寵愛された妾であった阿野廉子も眠っておられますし、世の情勢が不穏になってからの楠木一家はこの観心寺に居を移していたため、そのときに関わったとされる人々も葬られています。

また、観心寺の境内には行政所跡といわれる建物もあり、いわゆる後醍醐天皇が鎌倉方の足利氏との歯車が狂い始め、不穏な空気が流れ始めた京都御所周辺、つまり六波羅探題の目から逃れるために、行宮（仮の宮）としてこの観心寺に身を隠されていました。

当時の天皇が政治を執っていらっしやうったとはいえ、本当に素朴というのか質素というのか、むしろ粗末さを感じさせられるような雰囲気を感じさせている建物です。それでも、信頼厚い楠木正成公にその身の安全を委ねられていたので、決して恵まれた環境ではないのに、正成さん一族と生活を共になさっていたのです。

今でこそ、立派な道路があり、周囲には開発されてから相当な年月を感じさ

駅行きの時刻の確認です。年末は高鴨神社（奈良県御所市）にも足を運びたくて、停留所から数百メートル離れている観心寺にお参りをしていた徒歩で停留所に戻ってくるというのを、本来なら40分はかかる行程を30分でこなすという、かなりなドタバタ参りをしたのです。ということで、観心寺へのお参りの仕切り直しでございます。

こちらは桜が咲くにはまだちょっと先の感じですね。平地よりも300mくらい高いところにあるのと、なにせ金剛山の麓は、大阪側も奈良側も冬の寒さは格別なのです。

本日はここ観心寺のみなので、ゆっくりと参拝しましょう。桜が満開になるのは来週辺りかなという感じのようできて、日曜日で快晴なのに参拝客はまばらです。わんさかと人がいるのはいただけませんが、かといって、参拝客が自分ひとりというのもどことなく落ち着きません。

実は、観心寺をゆっくりお参りするときに、必ずといっていいほどすることがあります。それは、本堂から胡座を置いて建掛堂をじっくり観ることです。

この建掛堂はその名の通り、何かを建

せるとはいえ、立派な住宅が並んでいて、平地からバスやクルマを使えばものの15分もあればたどり着けますが、今から600年以上も前であれば、おいそれとはたどり着けないくらいの山深い場所だったのでしょ。

そういう生活の中で、それでも正成公はこの境内に五重塔を建立する計画を立てていました。ところが、その正成公が亡くなってしまったことから、建立は現実化されることなく、その思いだけを留めて今の姿を保っています。

この建掛堂の中には阿弥陀如来様がいらっしやう、日曜祝日に拝顔することができます。また、本堂には国宝である如意輪観音様がいらっしやいますが、こちらは秘仏であるため、公開毎年は4月の中旬頃の2日間のみに限られています。

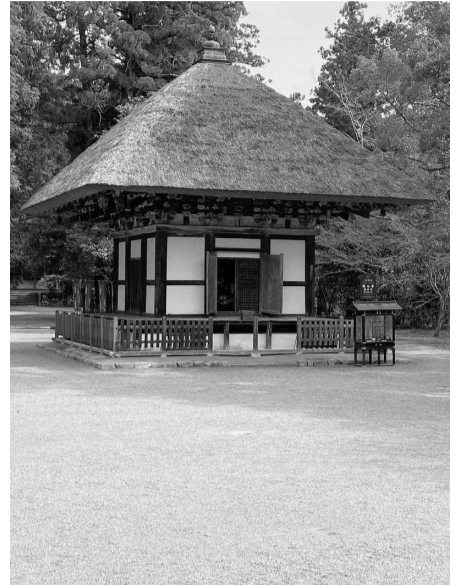
それにしても、本堂から建掛堂までのこの絶妙な距離感は、何度見ても不思議な感じがします。童門冬二著『楠木正成』や大佛次郎著『大南公・楠木正成』などを読んで、ほんのりと残る悲哀が脳裏からにじみ出てきて、この距離感は更に絶妙さを増していきます。

歴史にもしもはないと言われますが、それでも、もしここに五重塔が建てられていたら、この本堂からの風景はどのようにになっていたのだろうかとか、

て掛けた状態で頓挫し、未完のままの姿で残された建造物です。

5

本当はここに、この地の頭首であった楠木正成さんが五重塔を建立するはずでした。



現在の大阪府富田林市から奈良県桜井市辺りまでが、楠木正成さんが治めていた領地だったそうです。その中には日本最古の神社のひとつと言われている大神神社があり、御所市の高鴨神社があります。現に、高鴨神社にいきましたと、馬にまたがった颯爽たる姿の楠木正成さんの銅像がありますので、この辺りもかつては領地だったことが分かります。



国宝・如意輪観音像（秘仏）

逆にこの建掛堂すらなかったら、この距離感は作り出せなかったわけですから、どちらの方向で考えても、ここにあるべくしてあるという重みを感じずにはられません。

いやホンマに不思議です。写真では決して再現できない距離感で、今日のように季候が良くて時間を気にしないでいられるのなら、1日中ずっと眺め続けていられるくらいです。たったこれだけのものしか目に入ってこないのに、あまりにも単純化された世界であるがゆえに飽きがこないのです。

現実的にはバスの時間を気にしながらですが、それでも15分くらいでしょうか、お堂の外で胡座を置いて座っておりました。